

1 災害と復旧の状況

平成18年は、台風や大規模な低気圧等により、岩手県内各地の道路・河川等の公共土木施設に大きな被害をもたらした年でした。

1月5日の雪崩災害に始まり、年末の季節外れの豪雨災害まで、15回の異常気象により、1,915箇所、約240億円の災害が発生しました。査定決定額では全国で1番の災害規模となりました。

◆主な災害

1月以降の凍上災害、4・5月 地すべり、8月 集中豪雨による岩手山土石流、9月 台風12号、10月6日～8日 豪雨と風浪、12月26日～27日 豪雨

現在、県民の安心・安全の確保に向けて、被災箇所の早期復旧に取り組んでおり、平成19年7月末現在で、復旧の進捗率は70%程度まで達成している状況です。

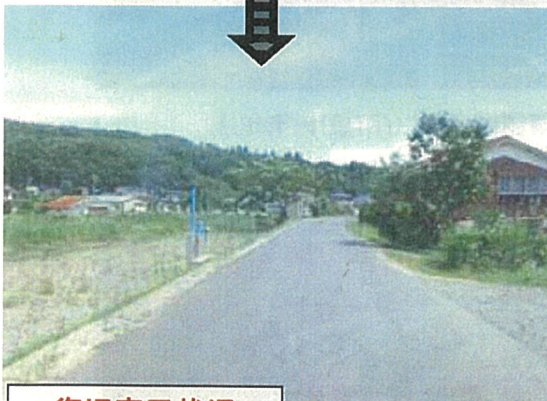
2. 復旧完了箇所の紹介

一級河川夏井川（久慈市）

一般県道花巻田瀬線（花巻市）

被災状況

豪雨による災害



復旧完了状況

被災状況

異常低温による災害(凍上災害)



復旧完了状況

残る被災箇所についても、早期復旧に向けて取り組んでいます。復旧工事に当たっては、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。